

**ボッシュ株式会社** 電動工具事業部

ホームページ: <http://www.bosch.co.jp>  
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーコール

**0120-345-762**

(土・日・祝日を除く、午前9:00~午後5:30)

\* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161  
をご利用ください。コールセンターフリーコールのご利用  
はできませんのでご了承ください。



1 619 PA7 277

1 619 PA7 277 (2021.11)

**GAS 10**  
**GAS 10PS**



## 取扱説明書

このたびは、弊社マルチ集じん機 PRO をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がございましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。



## 目次

●安全規則.....	2
警告表示の区分 .....	2
一般安全規則.....	2
記号について .....	7
●安全上のご注意.....	8
コード式電動工具全般についての注意事項 .....	8
マルチ集じん機についての注意事項.....	12
ブロワについての注意事項 .....	15
●本製品について.....	16
用途.....	16
各部の名称.....	16
標準付属品.....	17
仕様.....	19
●使い方.....	20
作業前の準備をする.....	20
クリーナーとして使用する .....	26
ブロワとして使用する .....	33
●お手入れと保管.....	35
クリーニング .....	35
保管.....	39
電動工具の廃棄について.....	40
●困ったときは.....	41
故障かな?と思ったら.....	41
修理を依頼するときは.....	42

安  
全

つ本  
製  
品  
に  
てに

使  
い  
方

保 お  
手 入  
れ と  
管

困  
っ  
た  
と  
き  
は

## 安全規則

安

全

### 警告表示の区分

ご使用上の注意事項は 、、 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

- 危険** ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。
- 警告** ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
- 注意** ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

### 一般安全規則

#### 警告

取扱説明書の内容すべてをよくお読みください。

下記に記載した指示に従わなかった場合は、感電、火災、重傷を招く恐れがあります。

下記に記載したすべての警告における“電動工具”という用語は、電源式(コード付き)電動工具または、電池式(コードレス)電動工具を示します。

次の事項を順守してください。

### a) 作業場

- 1) 作業場は整理整頓し、十分な照明を保ってください。散らかった暗い場所は、事故の原因になります。
- 2) 爆発を引き起こす恐れのある可燃性液体、ガスまたは粉じんがある場所では、電動工具を使用しないでください。  
電動工具は、粉じんまたはヒュームを発火させる恐れがある火花を発生する場合があります。
- 3) 電動工具の使用中は、子供および第三者を近づけないでください。注意が散漫になり、操作に集中できなくなることがあります。

安

全

### b) 電気的安全性

- 1) 電動工具の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグの改造は、絶対に行わないでください。アダプタプラグを接地した電動工具と一緒に使用しないでください。  
改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電する危険が低減されます。
- 2) パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫など、接地処理された媒体と身体が接触するのを避けてください。  
身体が接触すると、感電する危険が増大します。  
屋外で使用する際には、3)～5)の注意が必要です。
- 3) 電動工具、バッテリーは、雨ざらしにしたり、湿気のある状態にさらしたりしないでください。水が入ると、感電する危険が増大します。  
◆ バッテリーが発煙、発火、破裂する恐れがあります。
- 4) 電源コードは乱暴に扱わないでください。コードを使って電動工具を運んだり、コードを引っ張ったり、コードを引っ張って電源コンセントから抜いたりしないでください。また、コードを熱、油、角のとがった場所、また可動部に近づけないでください。コードが損傷したりもつれたりしていると、感電する危険が増大します。  
◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。  
◆ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、修理を依頼してください。お買い求めの販売店、またはボツシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- 5) 電動工具を屋外で使用するときは、屋外使用に合った延長コードを使用してください。屋外使用に合った延長コードを使用すれば、感電する危険が低減されます。  
◆ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。



### c) 人的安全性

- 1) 電動工具の使用中は、油断せず、いま自分が何をしているかに注意し、常識を働かせてください。疲労していたり、薬・アルコールを服用していたりするときには、電動工具を使用しないでください。電動工具使用中に一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。
  - ◆ 電動工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 2) 安全保護具を着用してください。常に保護めがねを着用してください。防じんマスク、滑り止め付き安全靴、ヘルメット、耳栓などの安全保護具を適切に着用することで、傷害事故が低減されます。
  - ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い(イヤマフ)などの防音保護具を着用してください。騒音にさらされると、難聴の原因となります。
- 3) 意図せず作動開始しないよう、気をつけてください。電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、必ずスイッチが“切”になっていることを確認してください。指をスイッチに掛けて電動工具を運んだり、スイッチが“入”になっている状態で電動工具の電源プラグを電源コンセントに差し込むと、事故の原因になります。
  - ◆ 回転している先端工具が思いがけず身体に当たると、衣服に引っ掛かり、身体が引き込まれる恐れがあります。
- 4) 電動工具の電源を入れる前に、調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。電動工具の回転部に調節キーやレンチを付けたままにしておくと、人的傷害の原因になります。
- 5) 無理な姿勢で作業をしないでください。常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。これにより、予期せぬ状況でも電動工具をより適切に操作することができます。
- 6) きちんとした服装で作業してください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。髪、衣服、手袋を、電動工具の回転部に近づけないでください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具、長髪は、回転部に巻き込まれる恐れがあります。
  - ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
  - ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- 7) 集じん装置が接続できるものは、適切に使用されていることを確認してください。集じん機などを使用することで、粉じんに関する危険を低減することができます。
  - ◆ 作業中に発生する粉じんは、健康を害します。

#### d) 電動工具の使用および手入れ

- 1) 電動工具を、無理に使用しないでください。目的に合った電動工具を使用してください。より適切、安全に作業ができます。
  - ◆ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
  - ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
  - ◆ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
  - ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。
- 2) スイッチで始動、および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。スイッチで制御できない電動工具は危険です。修理を依頼してください。
- 3) 調整・付属品の交換・保管をするときは、必ず電動工具の電源プラグを電源コンセントから抜くか、電動工具本体からバッテリーを取り外してください。このような予防的安全手段により、不意の作動によるけがの発生が軽減されます。
- 4) 電動工具を使用しないときは、子供の手の届かない場所に保管してください。また、電動工具の取り扱いに不慣れな人や取扱説明書の内容を理解していない人には操作させないでください。電動工具を扱っていない人に渡すと、危険です。
  - ◆ この機械で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。
  - ◆ 鍵のかかる所に保管してください。
- 5) 電動工具の保守を行ってください。電動工具の動きに影響を及ぼす恐れのある可動部分の心ずれや結合、各 부품の損傷やその他の状態をチェックしてください。異常があった場合は使用せず、修理をご依頼ください。多くの事故は、点検作業を怠ったことが原因となっています。
- 6) 先端工具は鋭利で清潔な状態を保ってください。先端工具を適切に手入れし、鋭利な状態を保っておけば、作業の円滑さを失うことなく、能率よく作業できます。
- 7) 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具などは、作業条件および作業内容を考慮して、それらの取扱説明書に従って、使う電動工具に合うように使用してください。  
電動工具を意図した作業と異なる作業に使用すると、危険な状況になることがあります。
  - ◆ 指定されたアクセサリ以外は、取り付けられたとしても安全に作業できない恐れがあります。
- 8) 電動工具は、25℃での使用を前提としていますが、時折、35℃になることも想定しています。

安

全



### e) 整備

電動工具の整備は、資格をもつ修理要員が純正の交換部品だけを用いて行ってください。これにより、電動工具の安全性を維持することができます。

- ◆ サービスマン以外の方は電動工具、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ◆ 電動工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているため改造しないでください。
- ◆ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
- ◆ 損傷したり、改造した電動工具やバッテリーを使用すると、予想外の動きをして、電動工具をコントロールできなくなります。

### f) その他

- 1) この機器は、安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人(子供を含む)が単独で使用しないでください。
  - ◆ この機器で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。
- 2) 製品本体および本取扱説明書に使用されている記号の意味については、「記号について」を参照してください。

## 記号について

本機には下記の記号が表示されています。  
記号の意味を十分理解して本機を使用してください。

安  
全

	交流
	クラスⅡ電動工具
	WEEE指令
	けがのリスクを軽減するために取扱説明書をお読みください
	ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください
	ビニール袋は窒息の危険があります この袋は赤ちゃんや子どもから遠ざけてください
	リサイクル識別表示マーク(紙製容器包装)
	リサイクル識別表示マーク(プラスチック製容器包装)

## 安全上のご注意

安  
全

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

### コード式電動工具全般についての注意事項

ここでは、コード式電動工具全般の『安全上のご注意』について説明します。

#### 警 告

- **感電に注意してください。**
  - ◆ めれた手で電源プラグに触れないでください。
- **加工するものをしっかりと固定してください。**
  - ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- **異常や故障時には、直ちに使用を中止し、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜いてお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに、点検、修理を依頼してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。**

<異常・故障例>

  - ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
  - ・電源コードに深いキズや変形がある。
  - ・コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
  - ・焦げくさい臭いがする。
  - ・ビリビリと電気を感じる。
  - ・スイッチを入れても動かない。 など

- **必ず、銘板に表示してある電圧の電源で使用してください。**
  - ◆ 表示以外の電圧で使用すると、事故の原因になります。
- **やむを得ず、湿気の多い場所で使用する場合は、漏電遮断器(RCD)を設置して給電してください。**
  - ◆ 漏電遮断器の設置で、感電する危険が低減されます。
- **つなぎコードは、アース中断線を備えた3芯コードを使用してください。(二重絶縁品、低電圧品は除く)**
- **必ずアース(接地)してください。(二重絶縁品、低電圧品は除く)**
- **アース線をガス管に接続しないでください。(二重絶縁品、低電圧品は除く)**
- **作業中は電源コードが損傷したりもつれたりしないよう注意し、常に本体の後方に離してご使用ください。**
  - ◆ コードが損傷したりもつれたりすると、感電や故障の原因になります。
- **作業領域に電線管や水道管、ガス管などが埋設されていないか、適切な探知器で十分確認するか、公益事業者へ連絡をして、助言を求めてください。**
  - ◆ 埋設物があると、先端工具が触れたとき事故の原因になります。  
電気配線との接触は、発火や感電につながる恐れがあります。  
ガス配管の損傷は、爆発につながる恐れがあります。  
水配管の貫通は、器物破損の原因になります。
- **先端工具が埋設された配線などに接触する恐れがある場合、電動工具本体の絶縁された握り部を持って作業を行ってください。**
  - ◆ 絶縁部分を持っていないと、先端工具が通電している配線に接触して、電動工具本体の金属部に通電した場合、作業者が感電する恐れがあります。  
絶縁部分で保持していると、感電する危険が小さくなります。
- **誤って落としたり、ぶついたりしたときは、電動工具本体や先端工具、付属品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**
  - ◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。

安

全

- 鉛コーティングしてある作業材料やある種の木材、鉱物や金属への作業から出るホコリやクズなどによっては、健康に悪影響を与えたり、アレルギー反応を引き起こしたりするものがあり、呼吸器の感染症やガンなどの原因となる可能性があります。
  - ◆ アスベストを含む材料への作業は、専門知識のある方にのみ許されています。
    - できる限り、材料に合った集じん装置を使用してください。
    - 作業場所の換気に注意してください。
    - DS2クラス以上のフィルター付防じんマスクの着用をお勧めします。作業を行う材料に関して、自国の関連規則を遵守してください。
- 作業場で粉じんの堆積は避けてください。
  - ◆ 容易に発火する恐れがあります。
- 定期的に電動工具の通気口を清掃してください。
  - ◆ 通気口にほこりなどが蓄積されると、故障や事故の原因になります。
- 電動工具を火のそばや、高温の場所に置かないでください。
  - ◆ 爆発の恐れがあります。
- 握り部は乾燥させ、油やグリースが付着していない状態を保ってください。
  - ◆ 握り部が滑りやすいと、電動工具本体を確実にコントロールすることができず、けがや事故の原因になります。
- 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- 安全上のご注意は、必ず守ってください。
  - ◆ 電動工具の取り扱いに慣れると、安全の注意事項厳守を怠りがちです。電動工具操作中に、一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。

 **注 意**

- **先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。**
  - ◆ 確実にしないと外れたりし、けがの原因になります。
- **高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。**
  - ◆ 材料や電動工具本体などを落としたときなど、事故の原因になります。
- **破損した保護カバー、その他の部品交換や修理については、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお問い合わせください。**

この取扱説明書は、大切に保管してください。

安

全

## マルチ集じん機についての注意事項

安

コード式電動工具全般の『安全上のご注意』について、前項では説明しました。

ここでは、マルチ集じん機をお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項について説明します。

全

### 警告

- 金属の切り粉、切断作業時に発生する火花、火の付いたタバコの吸いがらなど高温のものや引火性物質(ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料など)、爆発性物質(ニトログリセリンなど)、発火性物質(アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、チタン、赤リン、黄リン、セルロイドなど)および油、薬液などの液体は絶対に吸じんしないでください。また、引火および発火性のものの近くでは使用しないでください。
  - ◆ 出火や爆発の原因になります。
- 鋭利なもの(釘やカミソリの刃など)を吸じんしないでください。
  - ◆ 鋭利なものを吸じんすると、けがや故障の原因になります。
- 人体に害を及ぼす物質(石綿など)は絶対に吸じんしないでください。
- 使用中は、ノズルやホース接続口に、手や顔などを近づけないでください。
  - ◆ 近づけるとけがの原因になります。
- 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、集じん機本体および電動工具(連動コンセントに接続する)の電源が切れていることを必ず確認してください。
  - ◆ 電源を入れたまま電源プラグを差し込むと、急に動き出し事故やけがの原因になります。

- 連動コンセントには、二重絶縁および3ピン電源プラグ(アースピン付)付電動工具以外は絶対に接続しないでください。  
また、消費電力が、100～1,050Wの範囲を超える電動工具は接続しないでください。

◆ 感電や故障の原因になります。

- 取扱説明書に記載されている目的以外で連動コンセントを使用しないでください。

◆ 事故や故障の原因になります。

安

全

### ⚠ 注 意

- アクセサリーやモーター部とタンクの接続は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。

◆ 確実にしないと外れたりし、事故の原因になります。

- ストープなど高温のものに近づけないでください。

◆ 高温のものに近づけると、変色や変形の原因になります。

- タンクの中に、汚水や汚物を入れたままにしないでください。

◆ 入れたままにすると、悪臭の発生やタンクのいたみの原因になります。

- 使用前に、メインフィルターやホースなどのアクセサリーが、確実に取り付けられているか、必ず点検してください。

◆ 確実に取り付けられていないと、事故や故障の原因になります。

- 集じん機本体のノズル・吸気口・排気口をふさいだ状態で使用しないでください。

◆ 故障の原因になります。

- 集じん機本体を倒したり、横倒しの状態で使用しないでください。

◆ 故障の原因になります。

- コンクリートや石材の粉じんなど、粒子の細かなゴミを吸じんする場合は、必ずペーパーバッグを併用してください。

◆ 故障の原因になります。



- 集じん機本体から泡や水が溢れ出たときは、直ちに「メインスイッチ」を切り、タンクを空にしてください。
  - ◆ そのまま使用すると、故障の原因になります。
- 作業中は、十分に換気をしてください。
- 椅子や踏み台として使用しないでください。
  - ◆ 集じん機本体が転倒すると、事故や故障の原因になります。
- ウォーター・ジェットなどで集じん機本体に直接水を掛けて掃除しないでください。
  - ◆ 集じん機本体内に水が入ると、感電や故障の原因になります。
- 集じん機本体をクレーンのフックに掛けて運搬しないでください。
  - ◆ 事故や故障の原因になります。

## ブロワについての注意事項

ここでは、ブロワをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項について説明します。

安

全

### 警 告

- **吸入口や送風口に、顔や手を近づけないでください。**
  - ◆ けがの原因になります。
- **人や動物に直接風を当てないでください。**
  - ◆ 事故の原因になります。
- **送風口や吸入口をふさがないでください。**

アンカー穴の掃除作業などにおいて、送風口や吸入口をふさいだり、ノズル先端を絞り込む行為(ノズル先端に小径ホースを取り付けるなど)はしないでください。

ボール、ゴムボートなどに空気を充填する目的では、使用しないでください。

  - ◆ モーターの回転が異常に高速となり、本体内部の羽根が破損する恐れがあり、けがの原因になります。また、モーターが加熱し、火災の恐れがあります。
  - ◆ 速度制御回路が発熱し、回転数の調整ができなくなる恐れがあります。

### 注 意

- **ストーブなど高温のものに近づけないでください。**
  - ◆ 変色や変形の原因になります。
- **吸じん袋の中に、汚物を長期間入れたままにしないでください。**
  - ◆ 悪臭の発生や本体のいたみの原因になります。
- **使用前に、ホースなどのアクセサリーが、確実に取り付けられているか、必ず点検してください。**
  - ◆ 事故や故障の原因になります。
- **作動させたまま、台や床などに放置しないでください。**
  - ◆ 事故の原因になります。

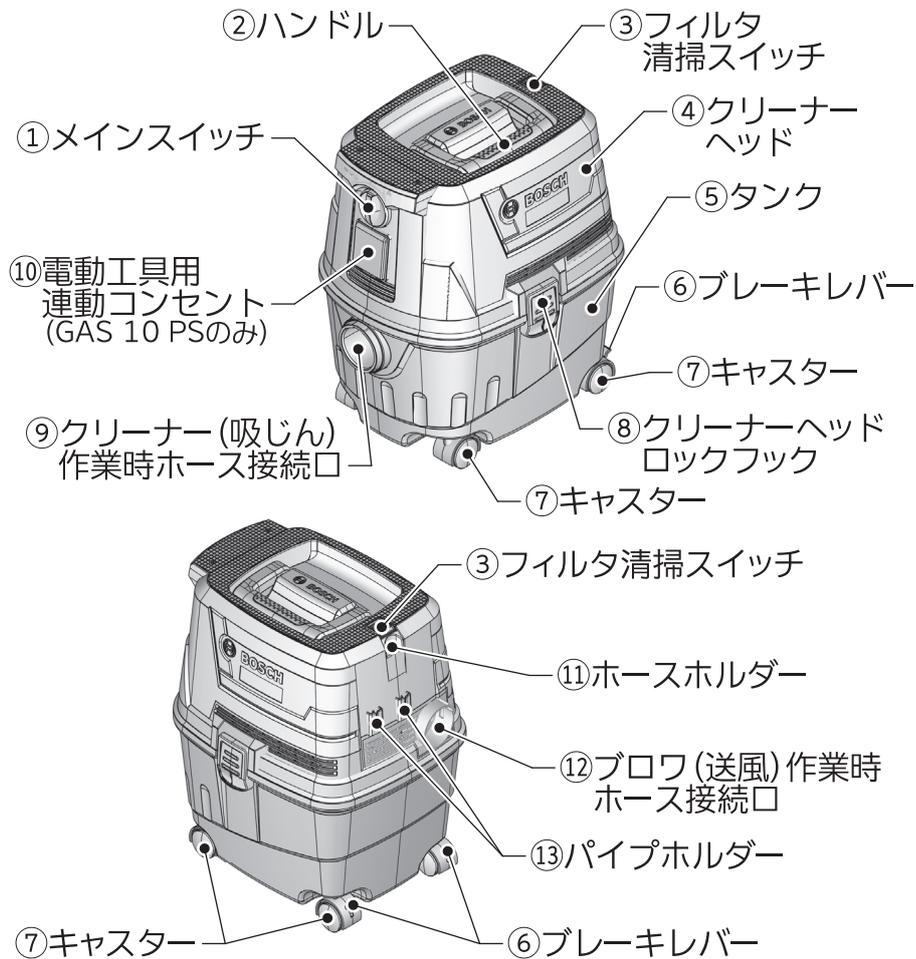
## 本製品について

### 用途

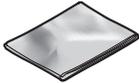
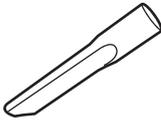
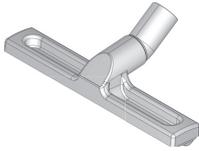
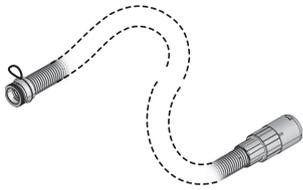
- ◆ ゴミや水の吸引
- ◆ コンクリートや石材の細かい粉じんの吸引
- ◆ 機械類の清掃(送風)

本製品について

### 各部の名称

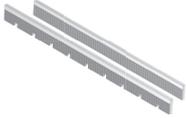


標準付属品

モデル名	GAS 10	GAS 10 PS
型番	GAS 10	GAS 10 PS
 ポリ袋	1枚	1枚
 パイプ	2本	2本
 ノズル	1個	1個
 すき間ノズル	1個	1個
 床用ノズル	1個	1個
 φ35集じん専用ホース(3m 帯電防止)	1本	1本

本製品  
 には  
 ついて  
 いない

本製品について

モデル名	GAS 10	GAS 10 PS
型番	GAS 10	GAS 10 PS
 メインフィルター (本体に組み込み済み)	1個	1個
 液体フィルター	1個	1個
 プレフィルター (メインフィルターに装着済み)	1個	1個
 床用ノズルゴム	2本	2本
 床用ノズルブラシ (床用ノズルに組み込み済み)	2本	2本
 ノズルアダプター	—	1個

☞ ブロワとして使用するときには、別売品のブロワ専用ホースが必要となります。別途お買い求めください。

注文番号は、弊社コールセンターフリーコールまでお問い合わせください。(フリーコールの番号は、本取扱説明書の裏表紙に記載されています。)

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

## 仕 様

モデル名	GAS 10	GAS 10 PS
型 番	GAS 10	GAS 10 PS
定格電圧	A.C.100V、50-60Hz	
消費電力(入力)	1,100W	
風 量	33L/s	
真空度*1	220hPa(22kPa)	
吸じん容量 一般ゴミ 液 体	10L 8L	
連動コンセント (接続可能な電動工具の消費電力)	—	100~1,050W
質 量*2	6kg	
感電保護クラス	回/II	
防水等級	IPX4	
電源コード	5m	

本  
製  
品  
に  
つ  
い  
て

\*1 φ35mmの真空ホース3mで測定したとき

\*2 EPTAプロシージャー01/2013に準拠

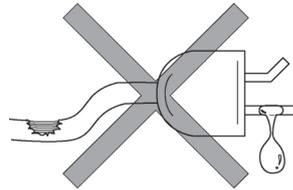
# 使い方

## 作業前の準備をする

 **警告** ◆ 電源コードや電源プラグが損傷しているときは、直ちに使用を中止してください。お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。

### ● 使用電源を点検する

- 単相A.C.100V、50-60Hzか？
- 電源コンセント不良(ガタ)のため、電源プラグが簡単に抜けないか？
- 電源コードが断線したり、電源プラグが破損したりしていないか？



使  
い  
方

### ● キャスターを固定する・解除する

キャスター⑦を固定すると、集じん機本体の動きを止めることができ、作業前の準備をする場合などに便利です。

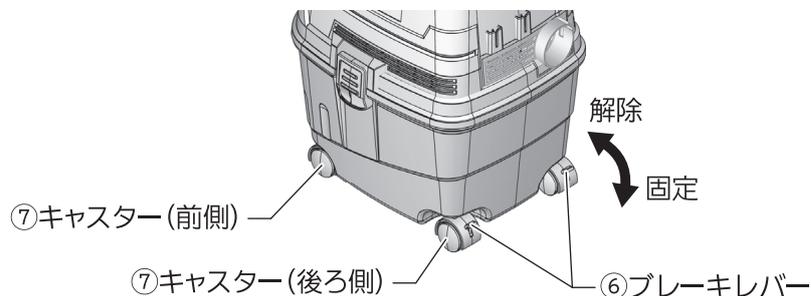
 集じん機本体を動かすときは、キャスター⑦が固定されていないことを確認してください。

#### 固定する

後ろ側のキャスター⑦(左右両方)に付いているブレーキレバー⑥を押し下げます。

#### 解放する

ブレーキレバー⑥(左右両方)を引き上げます。

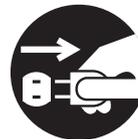


## ● ポリ袋を取り付ける・取り外す



**警告**

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、ポリ袋を取り付けたり取り外したりするときは、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。



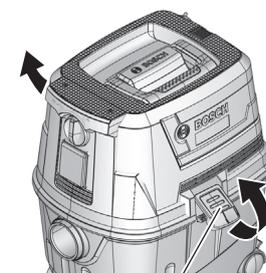
**注意**

- ◆ ポリ袋にゴミをためすぎないでください。ポリ袋が破れる原因になります。

☞ ポリ袋は、市販品の45L(幅650mm×深さ800mm)が使用できます。厚さは、0.04mm以上のものをお奨めします。

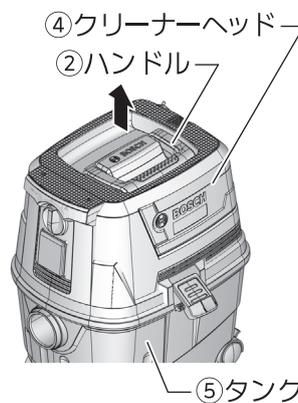
### 取り付け

1. クリーナーヘッドロックフック⑧を矢印の方向に引き上げてロックを外します。クリーナーヘッドロックフック⑧は、左右にあります。



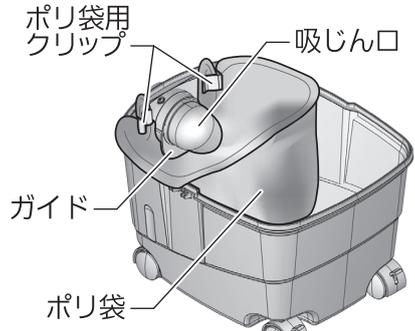
⑧クリーナーヘッド  
ロックフック

2. ハンドル②を持ってクリーナーヘッド④を引き上げ、タンク⑤から取り外します。

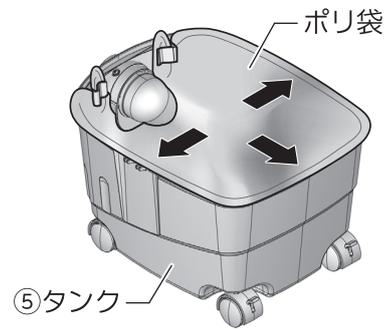


使  
い  
方

3. ポリ袋の縁を吸じん口の下にあるガイドとポリ袋用クリップに差し込みます。

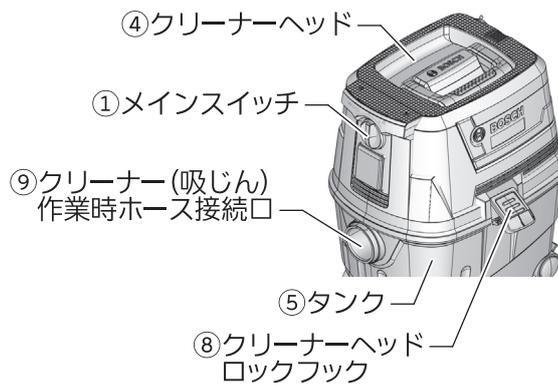


4. ポリ袋をタンク⑤全体に広げ、タンク⑤の縁に被せます。



5. クリーナーヘッド④をタンク⑤にセットし、クリーナーヘッドロックフック⑧で固定します。

☞ クリーナーヘッド④は、「メインスイッチ①」がクリーナー(吸じん)作業時ホース接続口⑨側になるようにセットしてください。



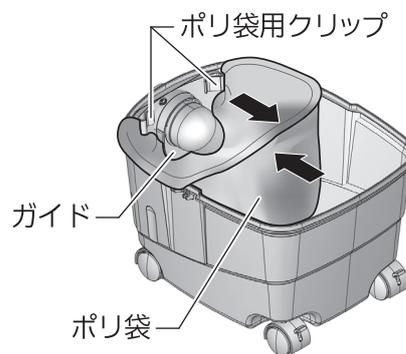
## 取り外し(交換)



**注意**

◆ ポリ袋が破れないように注意してください。

1. クリーナーヘッドロックフック⑧を引き上げてロックを外します。  
クリーナーヘッドロックフック⑧は、左右にあります。
2. ハンドル②を持ってクリーナーヘッド④を引き上げ、タンク⑤から取り外します。
3. ポリ袋を吸じん口の下にあるガイドとポリ袋用クリップから外します。
4. ポリ袋をタンク⑤から取り出します。



使  
い  
方

5. 新しいポリ袋を取り付けます。  
21ページ「取り付け」の3～4項の手順でポリ袋をセットします。
6. クリーナーヘッド④をタンク⑤にセットし、クリーナーヘッドロックフック⑧で固定します。  
 クリーナーヘッド④は、「メインスイッチ①」がクリーナー(吸じん)作業時ホース接続口⑨側になるようにセットしてください。

## ● 液体フィルターを取り付ける・取り外す



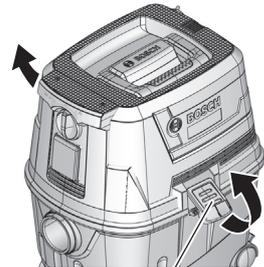
**警告**

◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、液体フィルターを取り付けたり取り外したりするときは、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。



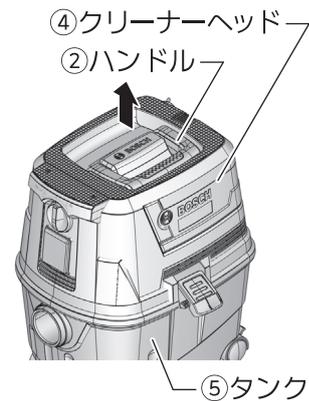
### 取り付け

1. クリーナーヘッドロックフック⑧を矢印の方向に引き上げてロックを外します。クリーナーヘッドロックフック⑧は、左右にあります。



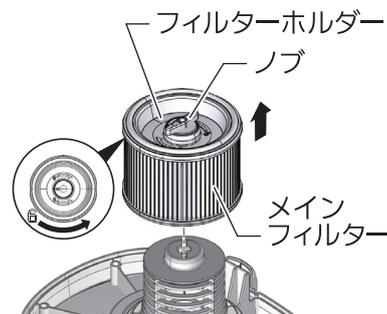
⑧クリーナーヘッド  
ロックフック

2. ハンドル②を持ってクリーナーヘッド④を引き上げ、タンク⑤から取り外します。
3. クリーナーヘッド④をハンドル②を下にして置きます。



④クリーナーヘッド  
②ハンドル

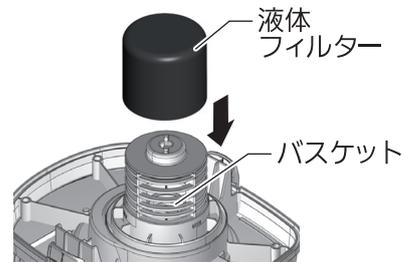
4. メインフィルターに装着されているプレフィルターを取り外します。
5. フィルターホルダーのノブを開く“⑥”の方向にいっぱいまで回し、フィルターホルダーとメインフィルターを取り外します。



フィルターホルダー  
ノブ  
⑥  
メイン  
フィルター

使  
い  
方

6. 液体フィルターをバスケットに被せます。

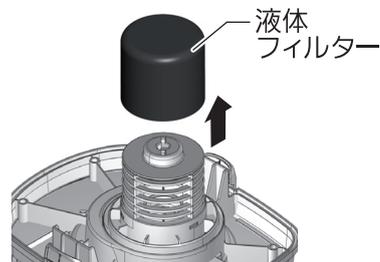


7. クリーナーヘッド④をタンク⑤にセットし、クリーナーヘッドロックフック⑧で固定します。

☞ クリーナーヘッド④は、「メインスイッチ①」がクリーナー(吸じん)作業時ホース接続口⑨側になるようにセットしてください。

### 取り外し

1. クリーナーヘッドロックフック⑧を引き上げてロックを外します。  
クリーナーヘッドロックフック⑧は左右にあります。
2. ハンドル②を持ってクリーナーヘッド④を引き上げ、タンク⑤から取り外します。
3. クリーナーヘッド④をハンドル②を下にして置きます。
4. 液体フィルターをバスケットから取り外します。



5. 清掃した、または新しいメインフィルターをバスケットに被せます。
6. フィルターホルダーをセットし、ノブを“ⓐ”方向にいっぱいまで回し、メインフィルターを固定します。
7. プレフィルターをメインフィルターに被せます。
8. クリーナーヘッド④をタンク⑤にセットし、クリーナーヘッドロックフック⑧で固定します。  
☞ クリーナーヘッド④は、「メインスイッチ①」がクリーナー(吸じん)作業時ホース接続口⑨側になるようにセットしてください。

使  
い  
方

## クリーナーとして使用する



### 警告

- ◆ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、集じん機本体および集じん機に接続した電動工具の電源が“切”になっていることを確認してください。
- ◆ 金属の切り粉、切断作業時に発生する火花、火の付いたタバコの吸いがらなど高温のものや引火性物質(ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料など)、爆発性物質(ニトログリセリンなど)、発火性物質(アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、チタン、赤リン、黄リン、セルロイドなど)および油、薬液などの液体は絶対に吸じんしないでください。また、引火および発火性のものの近くでは使用しないでください。
- ◆ 必ずアース(接地)してください。  
アース線をガス管に接続しないでください。
- ◆ ホースやノズルを取り付けたり、取り外したりするときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

使  
い  
方



### 注意

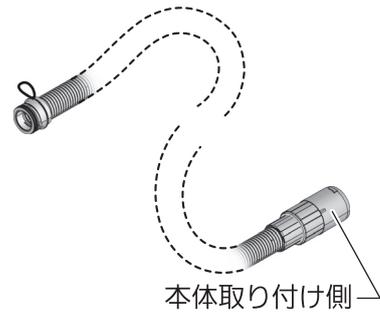
- ◆ 作業するときは、作業場の換気をしてください。
- ◆ 爆発の危険性がある場所で作業しないでください。
- ◆ 再起動のときは、ホースやアダプター、ノズルが確実に取り付けられているか確認してから電源を“入”にしてください。
- ◆ 集じん機は、給水ポンプとして使用しないでください。

- ☞ 最適な吸じん性能を確保するため、集じん機本体にホースを巻きつけて使用しないでください。
- ☞ エネルギーを節約するため、作業するとき意外は「メインスイッチ①」を“入”にしないでください。

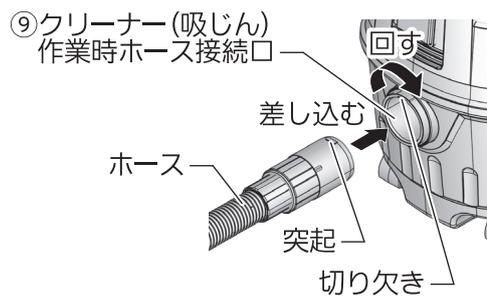
## ● 床用ノズルまたはすきま用ノズルを使用して、乾燥したゴミを吸じんする

☞ 集じん専用ホースを使用してください。

1. ホースの形状を確認します。  
ホースの端は左右で形状が違います。



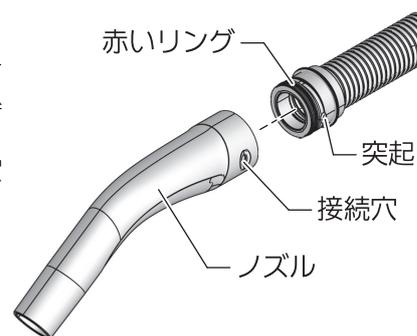
2. ホースの本体接続部の突起とクリーナー(吸じん)作業時ホース接続口⑨の切り欠きを合わせて、ホースを差し込み、矢印の方向に回します。



3. ホースを軽く引いて、抜けないことを確認します。

4. ホースにノズルを取り付けます。

- 1) ホースの先端にある、赤いリングを内側に押し込んでノズルに差し込む。
- 2) 赤いリングの突起とノズルの接続穴を合わせて固定する。



5. ノズルを軽く引いて、抜けないことを確認します。

使  
い  
方

6. ノズルの先端を、パイプに差し込みます。  
パイプには、径が大きい側と小さい側があります。径が大きい側に差し込んでください。
  - 🔧 パイプは2本付属されています。作業に合わせて、長さを調節してください。
  - 🔧 すきま用ノズルを使用する場合は、パイプを使用せず、ノズルに直接すきま用ノズルを接続しても使用できます。
7. パイプを床用ノズル、またはすきま用ノズルに差し込みます。
8. 集じん機の電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
9. 「メインスイッチ①」を“入”にして、作業を開始します。

使  
い  
方

### 電源の入/切

#### GAS 10

🔌 “入”:集じん機が始動します

⓪ “切”:集じん機が停止します



#### GAS 10PS

1 📍 “入”:集じん機が始動します

⓪ “切”:集じん機が停止します



10. 「メインスイッチ①」を“切”にして、作業を終了します。

### ノズル・ホースの取り外し

1. ノズル・パイプを取り外します。
2. ホースの本体接続部を左(反時計方向)に回し、ホースを引き抜きます。

## ● 電動工具を接続して吸じんする(GAS 10PSのみ)



**警告**

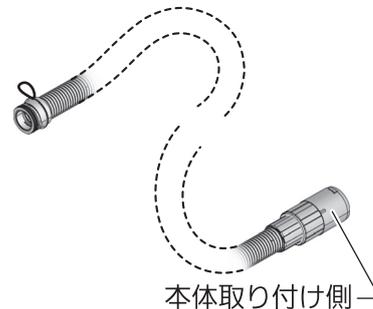
- ◆ 電動工具の電源プラグを集じん機の電動工具用連動コンセント⑩に差し込むときは、集じん機の電源プラグを電源コンセントから抜き、電動工具の電源を切ってください。



☞ 集じん専用ホースを使用してください。

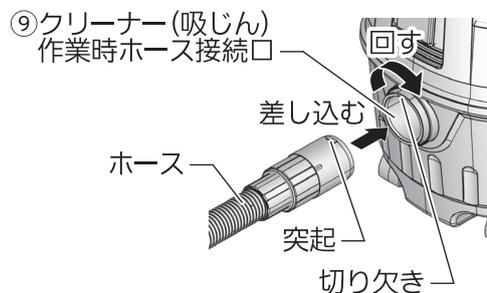
接続できる電動工具の消費電力:100W~1,050W

1. ホースの形状を確認します。  
ホースの端は左右で形状が違います。



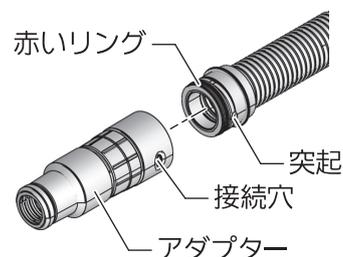
使  
い  
方

2. ホースの本体接続部の突起とクリーナー(吸じん)作業時ホース接続口⑨の切り欠きを合わせて、ホースを差し込み、矢印の方向に回します。

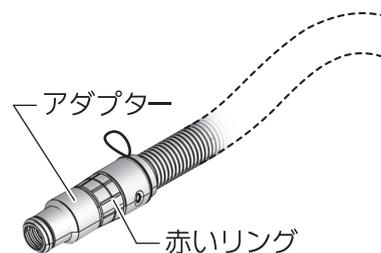


3. ホースを軽く引いて、抜けないことを確認します。

4. ホースにアダプターを取り付けます。
  - 1) ホースの先端にある、赤いリングを内側に押し込んでアダプターに差し込む。
  - 2) 赤いリングの突起とアダプターの接続穴を合わせて固定する。



5. アダプターを軽く引いて、抜けないことを確認します。
6. 電動工具の吸じんホース差し込み口にホースに取り付けたアダプターを接続します。
7. 電動工具の電源プラグを集じん機本体の電動工具用連動コンセント⑩に差し込みます。
8. アダプターの赤いリングを回して、通風口を閉じます。



使  
い  
方

9. 集じん機の電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
10. 「メインスイッチ①」を“連動 (自動始動/停止) 1+”にします。  
電動工具の作動に合わせて、集じん機が始動・停止します。



☞ 「メインスイッチ①」が“1”の位置では、接続した電動工具は起動しません。

11. 電動工具の電源を“入”にして、作業を開始します。  
電動工具の電源を“入”にすると、集じん機は自動的に始動します。
12. 電動工具の電源を“切”にして、作業を終了します。  
電動工具の電源を切ると、集じん機は自動的に停止します。  
ホース内の残留物を吸じんするため、電動工具が停止してから最大6秒間集じん機は作動を続けます。  
集じん機をすぐに停止させたいときは、「メインスイッチ①」を“0”にして電源を切ってください。

## 電動工具、ノズル、ホースの取り外し

1. 集じん機本体から電動工具の電源コンセントを抜きます。
2. 電動工具の吸じんホース差し込み口からアダプターを抜きます。
3. ホースの本体接続部を左(反時計方向)に回して引き抜きます。

## ● 水が混ざったゴミを吸じんする



**警告**

- ◆ 感電を防ぐため、アース(接地)してください。
- ◆ 引火性、爆発性、発火性のゴミ(ベンゼン、油、アルコールなど)は吸じんしないでください。
- ◆ 給水ポンプとして使用することはできません。



**注意**

- ◆ 水が混ざったゴミを吸じんする前に、ポリ袋を取り外してください。
- ◆ 液体フィルターを使用してください。

使  
い  
方

 集じん専用ホースを使用してください。

 液体フィルターを使用すると水とゴミが分離され、作業後の処理が簡単になります。

1. 液体フィルターを取り付けます。  
(24ページ「液体フィルターを取り付ける・取り外す」参照)
2. 床用ノズルに床用ノズル用ゴムを取り付けます。  
(38ページ「床用ノズルブラシ・床用ノズルゴムを交換する」参照)
3. ホースやパイプを取り付けます。  
「床用ノズルまたはすきま用ノズルを使用して、乾燥したゴミを吸入する」  
(27ページ)の1項から6項の手順で、取り付けてください。
4. パイプに床用ノズルを取り付けます。
5. 集じん機の電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

6. 「メインスイッチ①」を“入”にして、作業を開始します。

#### 電源の入/切

##### GAS 10

On ㊦ “入”:集じん機が始動します

Off ㊦ “切”:集じん機が停止します



##### GAS 10PS

1 ㊦ “入”:集じん機が始動します

0 “切”:集じん機が停止します



使  
い  
方



- ◆ 本機には、水が吸じん容量に達すると、吸じんを停止するフロート機構がついております。  
(吸じんが停止しても電源は切れません)  
水を吸い込まなくなった場合は、直ちに電源を切り、タンク内の水を捨ててください。水を吸い込まなくなった状態で、長時間電源を入れたままにすると、加熱により集じん機本体が変形する恐れがあります。
- ◆ 泡や石けん水などは吸いこまないでください。  
フロート機構が正しく作動せず、感電や故障の原因になります。

7. 「メインスイッチ①」を“切”にして、作業を終了します。

#### ノズルとホースの取り外し



- ◆ 水を吸引した後は、タンク⑤を空にしてきれいに清掃し、かびないようによく乾燥させてください。
- ◆ ホース内やホース取り付け部に水が残っている場合があります。取り外すときに水がかかることがありますので注意してください。

1. 床用ノズル、パイプを取り外します。

2. ホースの本体接続部を左(反時計方向)に回しながら、引き抜きます。

## ブロフとして使用する

### ● ブロフ専用ホースを取り付ける・取り外す



**警告**

- ◆ ホースを取り付けたり、取り外したりするときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ◆ きれいなホースを使用して作業してください。汚れたホースを使用すると、ホースに付着していた粉じんが排出される可能性があります。

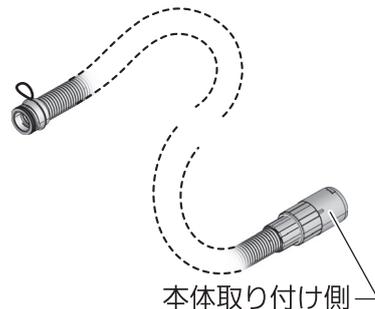
☞ 別売品のブロフ専用ホースを使用してください。

注文番号は、弊社コールセンターフリーコールまでお問い合わせください。(フリーコールの番号は、本取扱説明書の裏表紙に記載されています。)

### 取り付け

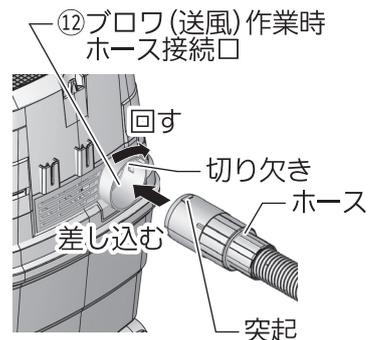
1. ホース内が汚れているときは、ホース内のゴミを吸じんします。  
クリーナーとして使用する状態で、「メインスイッチ①」を“入”にし、5秒以上吸じんしてください。

2. ホースの形状を確認します。  
ホースの端は左右で形状が違います。



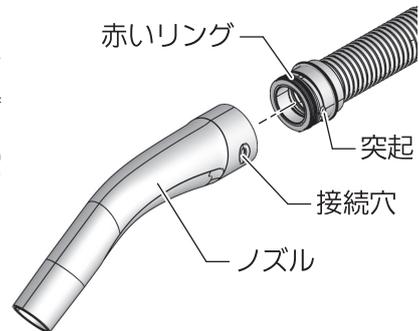
3. ホースの本体接続部の突起とブロフ(送風)作業時ホース接続口⑫の切り欠きを合わせて、ホースを差し込み、矢印の方向に回します。

4. ホースを軽く引いて、抜けないことを確認します。



使  
い  
方

5. ホースにノズルを取り付けます。
- 1) ホースの先端にある、赤いリングを内側に押し込んでノズルに差し込む。
  - 2) 赤いリングの突起とノズルの接続穴を合わせて固定する。



6. ノズルを軽く引いて、抜けないことを確認します。

使  
い  
方

### 取り外し

1. ノズルを取り外します。
2. ホースの本体接続部を左(反時計方向)に回し、ホースを引き抜きます。

### ● 作業する

1. 集じん機の電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
2. 「メインスイッチ①」を“入”にして、作業を開始します。

#### 電源の入/切

##### GAS 10

Ⓞ<sub>ON</sub> “入”:集じん機が始動します

Ⓞ<sub>OFF</sub> “切”:集じん機が停止します



##### GAS 10PS

① “入”:集じん機が始動します

① “切”:集じん機が停止します



3. 「メインスイッチ①」を“切”にして、作業を終了します。

## お手入れと保管



**警告**

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて、お手入れしてください。



### クリーニング

- 乾いた、柔らかい布で集じん機本体およびパイプ・ホース・ノズルの汚れをふき取る

 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。

- パイプ・ホース・ノズル内に付いたゴミを取り除く

- フィルター清掃機能でメインフィルターを清掃する

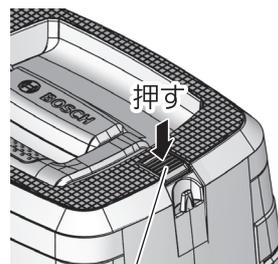
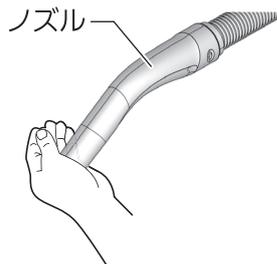
集じん機の吸じん力が十分でないときは、メインフィルターの掃除を行ってください。

掃除する頻度は、吸じんしたゴミの種類や量によって異なります。

ノズルの口を手で塞ぎ、「フィルター清掃スイッチ③」を押します。

1回の清掃に、2～3回「フィルター清掃スイッチ③」を押すことをお勧めします。

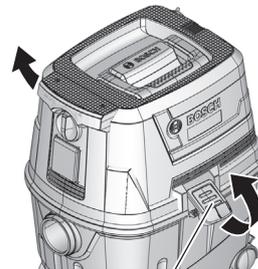
保  
お  
手  
入  
れ  
と  
管



③フィルター清掃スイッチ

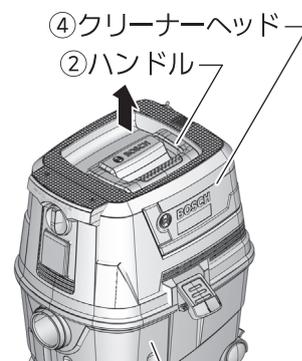
## ● メインフィルターに付いたゴミを取り除く

1. クリーナーヘッドロックフック⑧を矢印の方向に引き上げてロックを外します。クリーナーヘッドロックフック⑧は、左右にあります。



⑧クリーナーヘッドロックフック

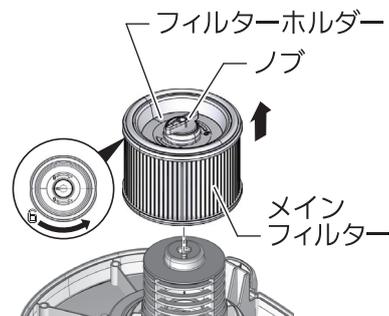
2. ハンドル②を持ってクリーナーヘッド④を引き上げ、タンク⑤から取り外します。
3. クリーナーヘッド④をハンドル②を下にして置きます。



④クリーナーヘッド  
②ハンドル

⑤タンク

4. メインフィルターからプレフィルターを取り外します。
5. フィルターホルダーのノブを開く“6”の方向にいっぱいまで回し、フィルターホルダーとメインフィルターを取り外します。



6. メインフィルターに付いたゴミを取り除きます。  
プラスチック部分を軽くたたいてゴミを振り落としてください。その際、メインフィルターを変形、破損させないように注意してください。特に汚れがひどいときは、水で洗い流してください。その際、メインフィルターを傷付けないように注意してください。(ブラシは使用しないでください。)  
水洗いしたあとは、陰干しでよく乾燥させてから使用してください。  
☞ ゴミを取り除けない場合、または損傷がある場合は新しいものに交換してください。

保  
お  
手  
入  
れ  
と  
管

7. 清掃した、または新しいメインフィルターをバスケットに被せます。
8. フィルターホルダーをセットし、ノブを“⊕”方向にいっぱいまで回し、メインフィルターを固定します。
9. プレフィルターをメインフィルターに被せます。
10. クリーナーヘッド④をタンク⑤にセットし、クリーナーヘッドロックフック⑧で固定します。  
☞ クリーナーヘッド④は、「メインスイッチ①」がクリーナー（吸じん）作業時ホース接続口⑨側になるようにセットしてください。

### ● タンク⑤のゴミまたは水を捨てる

1. クリーナーヘッドロックフック⑧を引き上げてロックを外します。  
クリーナーヘッドロックフック⑧は、左右にあります。
2. ハンドル②を持ってクリーナーヘッド④を引き上げ、タンク⑤から取り外します。
3. タンク⑤のゴミまたは水を捨てます。

#### ゴミ

タンクを傾けてゴミを捨てるか、ポリ袋ごと捨てる。  
ポリ袋ごと捨てたときは、ポリ袋を取り付けてください。  
(21ページ「ポリ袋を取り付ける・取り外す」参照)

#### 水

タンク⑤を傾けて水を捨てる。

☞ タンク⑤の汚れがひどいときは、市販の研磨剤が入っていない洗剤でタンク内を清掃し、かびないようによく乾燥させてください。

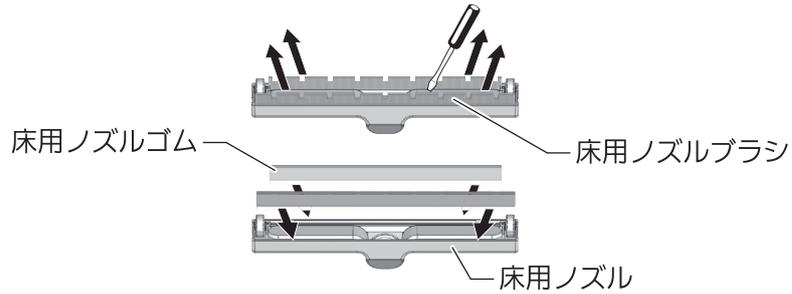
4. クリーナーヘッド④をタンク⑤にセットし、クリーナーヘッドロックフック⑧で固定します。  
☞ クリーナーヘッド④は、「メインスイッチ①」がクリーナー（吸じん）作業時ホース接続口⑨側になるようにセットしてください。

保  
お  
手  
入  
れ  
と  
管

## ● 床用ノズルブラシ・床用ノズルゴムを交換する

### 取り外し

マイナスドライバーを床用ノズル本体とブラシまたはゴムの間に差し込み、ブラシまたはゴムを引き上げて外します。



### 取り付け

床用ノズル本体にブラシまたはゴムを差し込みます。

ブラシまたはゴムの短いほうを吸入口側に取り付けてください。

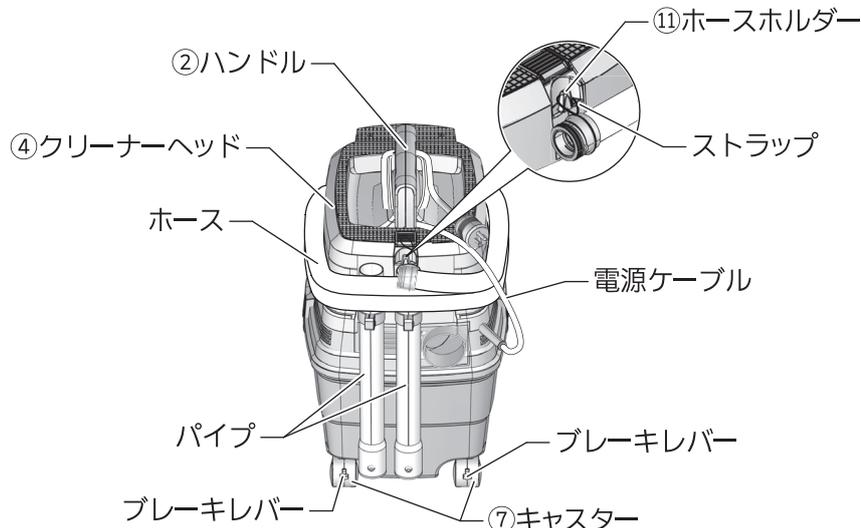
☞ ゴムを取り付けるときは、ヒダのある側を外に向けて取り付けてください。

保  
お  
手  
入  
れ  
と  
管

## 保 管

### ● 収納する

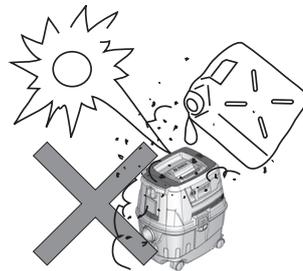
1. パイプホルダー⑬にパイプを取り付けます。
2. ホースをクリーナーヘッド④に巻きつけ、ホースのストラップをホースホルダー⑪に引っ掛けます。
3. 電源ケーブルをハンドル②に巻き付けます。
4. キャスター⑦をロックします。



保  
お  
手  
入  
れ  
と  
管

### ● 使った後は、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。特に、50℃以上になるところに置かない。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。
- キャスター⑦を解除したまま置かない。



## 電動工具の廃棄について

電動工具本体および付属品の廃棄については、各地域自治体にその方法を確認し、正しく廃棄してください。

保  
お  
手  
入  
れ  
と  
管

## 困ったときは

### 故障かな?と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめてください。  
② 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめてください。

症 状	原 因	対 処
「メインスイッチ①」を“入”にしても作動しない	電源プラグが電源コンセントに差し込まれていない	電源プラグを電源コンセントに差し込む
吸引力が弱い	タンク⑤がゴミでいっぱいになっている	タンク⑤のゴミを捨てる(37ページ参照)
	メインフィルターが目詰まりしている	メインフィルターを掃除する(35ページまたは36ページ参照)
	パイプ・ホース・ノズルにゴミが詰まっている	パイプ・ホース・ノズルのゴミを取り除く
	パイプ・ホース・ノズルが正しく接続されていない	パイプ・ホース・ノズルを正しく接続する
	吸引力調整リングの空気窓が大きく開いている	吸引力調整リングの空気窓の開きを調節する
	クリーナーヘッドロックフック⑧がきちんと留められていない	クリーナーヘッドロックフック⑧を正しく留める
「メインスイッチ①」を“入”にしてもすぐに停止してしまう	タンク⑤の液体が最大吸引容量に達している	タンク⑤の液体を捨てる
接続している電動工具の電源を入れても集じん機が作動しない	集じん機の「メインスイッチ①」が連動“  ”になっていない	集じん機の「メインスイッチ①」を連動“  ”にする
	電動工具の電源プラグが集じん機の電動工具用連動コンセント⑩にしっかり差し込まれていない	電動工具の電源プラグを集じん機の電動工具用連動コンセント⑩にしっかり差し込む
タンク⑤のゴミを捨てたあと、再起動しない		一度「メインスイッチ①」を“切”にし、5秒後に再度“入”にする

困ったときは

## 修理を依頼するときは

- ◆ 『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーコールまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合(消耗部品を除きます)が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。  
弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

### コールセンターフリーコール 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後5:30

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL.03-5485-6161をご利用ください。  
コールセンターフリーコールのご利用はできませんのでご了承ください。

### ボッシュ株式会社ホームページ <http://www.bosch.co.jp>

#### ボッシュ電動工具サービスセンター

〒355-0813 埼玉県比企郡滑川町月輪1464番地4  
TEL 0493-56-5030 FAX 0493-56-5032

#### ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野741-1  
TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

困ったときは



